

彼方小だより

家庭数配布

富田林市立彼方小学校

令和3年夏休み号

「感謝」

校長 藤井 貞彦

梅雨が明けたかと思うと、真夏のように暑い日が続いています。昨年に引き続き制約が多く、がまんを余儀なくされた1学期でしたが、無事に終わることが出来ました。これも保護者や地域の皆様のご協力があったことです。心より**感謝**いたします。

明日からは子どもたちが待ちに待った夏休みに入ります。本日、子どもたちの1学期のがんばりを記録した通知表を担任から渡しました。ご家庭でもがんばったことについて、ゆっくりお話をさせていただきたいと思います。



7月14日(水)、1・2年生、4年生、6年生が同じ日に遠足に出かけました。行き先はどの学年も錦織公園です。その日の錦織公園は彼方小学校の貸し切り状態で、子どもたちものびのびと活動していました。7月号にも書きましたが、緊急事態宣言の発令中は校外学習や授業参観等は実施することが出来ませんでした。久々の遠足に子どもたちの笑顔がはじけていました。みんなで楽しく遊んで、お弁当を食べました。私も同行していたのですが、子どもたちの楽しそうな顔を見ているだけで幸せな気分になりました。その上に「おやつ」を用意し忘れた私に「校長先生、これあげるわ。」と、やさしい子どもたち、まさかあんなことが待っているとは・・・

午後から雨が降るという予報だったので、どの学年も少し予定を繰り上げて早めに帰ることにしました。6年生が出発して、次に4年生が出ようとしたところに雷の音が響きました。4・2・1年生は休憩場所の東屋に避難。6年生も雷が通り過ぎるまで雨をしのげるところで退避することにしました。その後約1時間、雷と豪雨が続き、屋根があるとはいえ強い風で雨が吹き込んで、みんなびしょ濡れです。稲光とともに雷の音が響き渡り、怖くて泣きだす子もいました。その時です、誰にも指示されていないのに4年生の子が怖がっている子たちを囲んで「大丈夫やで。」「寒くない?」とやさしく励ましてくれました。少し離れたところでは泣いている1年生に2年生が必死に声をかけて元気づけていました。自分たちも怖かったはずなのに・・・小さい子を思いやる子どもたちの姿に胸が熱くなりました。それと同時に、日頃の子どもたちへの先生方や保護者のみなさんの指導に深く**感謝**しました。

3時前によく雨が小やみになり、出発しました。錦織公園の出口に着くと、学校から迎えに来てくれた先生方だけでなく、多くの保護者の方々が来てくださっていました。メールで呼びかけたとはいえ、予想を大きく上回る大勢の方が来てくださっていました。本当に**ありがとうございました**。翌朝、下校時刻の変更でご迷惑をおかけした見守りのみなさんのところに、お詫びに回りました。ところが「校長先生こそ、大変やったな。」と逆に労っていただきました。**ありがたくて涙が出そうになりました**。

この様に、温かい家庭・地域に守られ、彼方小学校はのびのびと教育活動を進めることが出来ています。彼方の教育に携わるすべての方々への**感謝**とともに1学期を締めくくりたいと思います。

「ありがとうございました！」

今夏も猛暑が予想されています。お体に気を付けてお過ごしください。

